

中期標準化戦略(平成30年度重点的取組)

専門委員会名	アーキテクチャ部門 3GPP2専門委員会	企画戦略委員	中野 裕介(KDDI)
		正副委員長	委員長: 鬼頭 孝嗣(KDDI)、副委員長: 大片 宏文(NEC)
3GPP2で作成される標準仕様を、国内で利用するTTC仕様書として制定する作業を行っています。また、3GPP2での標準仕様作成に向けて委員間での意見交換も行っています。			
重点的取組活動と達成目標、達成時期			
H29年度当初計画	①簡素化された3GPP2活動の実施状況に鑑み、専門委員会体制は維持するものの、活動はメーリングリストベースの情報共有を中心とする。 ②仕様書のダウンストリームは、緊急性、重要性のあるもののみ、専門委員会で判断して実施する。		
H29年度目標達成状況(年度内見込み)	①SC/OP Web会議への出席を通じて特に重要な案件はなく、専門委員会の開催を見送った。 ②日本市場に重要な3GPP2仕様書の制定はなく、ダウンストリーム制定はなし。		
H30年度当初計画	①簡素化された3GPP2活動の実施状況に鑑み、専門委員会体制は維持するものの、活動はメーリングリストベースの情報共有を中心とする。 ②仕様書のダウンストリームは、緊急性、重要性のあるもののみ、専門委員会で判断して実施する。		

中期標準化戦略(平成29年度活動報告)

専門委員会名	3GPP2専門委員会		登録委員数/会員数	4(2グループ)/3
主な活動項目	概況指標	H29年度目標(当初計画時)	H29年度実施状況	記事
①アップストリーム、他 団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加状 況、連携状況	3GPP2 TSG-AC/SX, SC/OP	3GPP2 TSG-AC会合(5, 9, 12月) TSG-SX会合(3, 6, 9, 12月) SC/OP会合(4, 10月) (すべてWeb会議)	
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	件数未定 (緊急度、重要度の高いもののみ実 施)	特に緊急度・重要度の高いものはなく、 ダウンストリーム制定なし	
③国内標準、仕様書、 レポートの作成	JJ標準		-	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
④プロモーション、普 及推進	セミナー		なし	
	記事投稿、講演会	特になし	なし	

中期標準化戦略(平成30年度活動計画)

専門委員会・AG名	3GPP2専門委員会		登録委員数/会員数	4(2グループ)/3
主な活動項目	概況指標	H30年度目標(当初計画時)	H30年度実施状況	記事
①アップストリーム、他団体との連携	寄書数	—		
	外部会合への参加状況、連携状況	3GPP2 TSG-AC/SX, SC/OP		
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	予定なし (緊急度・重要度の高いものがあつた場合に実施)		
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	—		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
④プロモーション、普及推進	セミナー	なし		
	記事投稿、講演会	なし		

中期標準化戦略(日本における状況とTTC標準化方針)

専門委員会名	3GPP2専門委員会	SWG	-
他標準化団体の動向	<p><u>3GPP2</u> 活動体制の変更(Restructuring)の実施(2015年1月)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会合を原則、電子会議化 ② WGやWPの見直し、効率化(PMTの廃止等) ③ 予算の大幅な見直し(会合費等の削減による大幅な費用圧縮と分担金の低減) <p>以降、仕様の制定、組織の運営はメンテナンスモードであり、特記すべき活動はなし。</p>		
日本における状況 (技術動向、市場動向、 標準化の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内では、H14年4月にCDMA2000 1Xサービス、H15年11月にEV-DOサービスが開始され、H18年9月にBCMCS、同12月に1xEV-DO Rev.Aサービスが開始され、H22年にはマルチキャリアRev.Aサービスが開始された。H24年には、データ通信における基地局の混雑を緩和するEV-DO Advancedサービスが導入された。 ・国内外の3GPP2通信事業者が、3.9世代システムとしてLTEを採用する動きが顕著となり、LTE-Advancedの導入も始まる。 ・3GPP2では、無線アクセスネットワーク、コアネットワーク、無線インタフェースに関わる標準化検討が進められてきた。近年では、他の移動通信システム(HSPA, LTE, WiMAX)とのInterworking, Femto cell, M2M通信、Energy Saving(GREEN)のプロトコル、SON(Self Organizing Network)の仕様化が行われたが、これらについてもCDMA2000 1xEV-DOの高度化と同様に、概ね、完了しつつあると見られ、2015年以降は、既存仕様のメンテナンス主体の活動となっている。 ・今後も3GPP2システムの運用が継続される見込みであるが、仕様策定がメンテナンスモードであることから、国内へのダウンストリームは緊急性、重要性のあるもののみ実施するものとする。 		
TTCの標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ・3GPP2で作成される標準仕様をTTC仕様として制定するダウンストリーム作業は、緊急性、重要性の高いもののみ専門委員会で決定して実施するものとする。なお、3GPP2では2015年より全会合を電子会議化するなど活動が簡素化されたことに合わせて、専門委員会活動もメーリングリストベースの情報共有を中心としている。 ・3GPP2では2015年から活動体制も変更されたので、TTCはその適切な運用を支援していく。また、3GPP2の在り方など重要事項に適切に対応できるよう、専門委員会の体制のみを維持し活動自体は最小限とする。 		